

空襲から78年  
平和を見つめ直す



3月18日、市中央公民館で「あの日を忘れない…～3.18 鹿屋初空襲によせて～」が開かれました。これは、初めて鹿屋が空襲に見舞われた3月18日の被害を改めて認識し、平和を考える会。今回で4回目となる講演では、慶応義塾大学の安藤広道教授が「戦争に関わる人々の行動をただ反省するのではなく、民衆を含めて彼らの正義がどこにあったのか見つめ直すことが大事」と話しました。

地域に貢献した  
企業に感謝を



3月17日、市役所で「鹿屋市地域定着企業表彰」が行われました。これは、本市で創業してから30年にわたって産業振興などに貢献している企業を表彰するもので、今回は日本モレックス合同会社鹿児島工場と株式会社九電工鹿屋営業所が受賞しました。式では、雇用創出などへの取り組みに対する感謝や、今後も地域経済の活性化を支えてほしいとの言葉が贈られました。

江戸時代から続く  
伝統の「柴かけ」



3月12日、串良町細山田の川原園井堰で「柴かけ」が行われました。マテバシイの木を束にして柴の堰を作り、田んぼに水を引き込むためのこの作業は、串良地域で江戸時代初期から続いており、市の無形民俗文化財に指定されています。当日は、串良町土地改良区の人たちを中心とした関係者が約17mある川幅に柴の束を順序良く立て掛け、立派な柴堰を作りました。

Hot News  
ホットニュース  
かのやのホットな話題をお届け!

市ホームページにほかの写真も掲載中!

新規就農者へ  
激励とお祝い



3月24日、市役所で「新規就農者を励ます会」が行われました。これは令和3年度中に新たに就農した人の門出を祝うもの。当日はきゅうりや畜産などの新規就農者7人が参加し、就農祝い金の贈呈や代表者による新規就農に向けた決意表明が行われました。参加者は笑顔を変えながらも農業経営の心構えや将来の営農計画について、農業への想いを熱く語りました。

子どもたちの門出  
マジックで祝う



3月23日、寿小学校で卒業式があり、そのサプライズイベントとしてマジシャンのCHUTAさんによるマジックショーが行われました。これは保護者会である「寿小学校おやじの会」がコロナ禍で学校生活を送ってきた卒業生と保護者への思いづくりとして企画したもの。体育館のステージでイリュージョンマジックなどが披露され、子どもたちは多種多様なマジックに驚きの声を上げていました。

スポーツ振興に  
貢献した選手を表彰



3月16日、市役所で「令和4年度鹿屋市スポーツ奨励金交付式」が行われました。これはスポーツ振興と競技力向上のために、本市の名声を高めたスポーツ選手及び団体に贈られるもの。今年度はバドミントン競技の柿内康平選手、自転車競技の入田翔選手、ゲートボール競技チーム「わいわいキング」のほか、鹿屋体育大学の個人18人1団体が受賞しました。

トルコ・シリア地震の  
被災者へ支援



3月16日、市役所で「2023年トルコ・シリア地震災害義援金」の寄贈式が行われました。2月に発生した同災害の被災者を支援するために集まった義援金は522,300円で、これらは鹿屋市社会福祉協議会を通じて日本赤十字社に寄贈されます。同会の宮下昭廣会長は「日本は東日本大震災を経験し、他人事ではないという思い。多くの寄附をいただき感謝を申し上げたい」と語りました。



体験を通して世代間  
交流を地域で楽しむ

3月19日、下名西ふれあいセンターで育成会や高齢者クラブなどの地域団体による交流会が行われました。当日は、地元の元パティシエによるケーキ作り体験や餅つきが行われ、参加者たちは世代を超えた交流を楽しみました。



自然を感じながら  
始良川沿いを歩く

3月19日、吾平町で「リバーサイドウォーキングあいら川」が開催されました。湯遊ランドあいらから吾平山上陵までの往路約7kmと往復約13kmの2コースで行われ、吾平山陵公園では雅楽と巫女舞が披露されました。



1年の集大成！  
元気な歌声に会場沸く

3月18日、リナシティかのやで「鹿屋市少年少女合唱団第21回定期演奏会」が行われました。演奏会では趣向を凝らした3つのプログラムが披露され、会場には子どもたちの元気な歌声と温かい拍手が響き渡りました。



東日本大震災追悼の  
想いを歌とともに

3月11日、東日本大震災を追悼する「第12回ストリートピアノでつなぐ祈りのハーモニー」が実施されました。この活動は全国同時に21会場で実施され、会場では14時46分の被災時間に合わせて黙祷をした後、生演奏が披露されました。



追悼式を前に公園の  
ボランティア作業

3月11日、小塚公園で「こらぼらQでんeco in 小塚公園」が行われました。これは、九州電力株式会社鹿屋営業所や地元町内会が参加した清掃ボランティア作業。参加者は約2時間かけて慰霊塔の清掃や公園の除草を行いました。



串良の排水路を  
きれいに保つために

3月10日、串良町内2か所の排水路清掃ボランティアが行われました。このボランティアは、毎年春に串良町内の建設業者が土地改良施設の維持を目的に行うもので、16社28人が重機などで排水路沿いの伐採を行いました。